

平成16年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	67	学校名	竜ヶ崎第一高等学校				課程	全日制		学校長名	染谷 信洋					
教頭名	中根 宏								事務(室)長名	底 清三						
教職員数	教諭	46	養護教諭	1	常勤講師	3	非常勤講師	3	実習指導員、実習助手	2	事務職員	4	技術職員等	3	計	64
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	普通科		184	96	174	114	152	128			510	338	21			
		科														

2 目指す学校像

歴史と伝統を誇る重厚な校風の中で、文武両道の精神を継承し、豊かな教養と英知を備え、地域社会をはじめ国際社会に貢献しうる有為な人材の育成に努める。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	生徒一人一人がその進路目標を実現するためには、授業への集中度、課外参加率や家庭学習時間などの面でまだまだ不十分である。	継続的な学習の重要性を生徒が自覚し、積極的に課外に参加し、十分な家庭学習時間を確保するよう、どうモラルを高めていくか。
進路指導	進路指導に関する情報量・指導力に個人差がある。教職員の指導力の向上を図って、学校全体として、より適切な指導体制を確立する必要がある。	学校全体で進路指導の目標をより明確にし、指導力の向上により、担任による差がない適切な進路指導をいかに推進していくか。
生徒指導	遅刻者は減少傾向にあるが、服装・頭髪については指導の必要がある。規範意識の涵養にさらに努める必要がある。	規律ある生活と規範意識の大切さをしっかり身につけさせる指導をどう推進し、成果をあげていくか。
特別活動	文化祭の発表内容で文化的活動に関する発表が少なく、娯楽的なものに偏ってきている。	生徒会・文化祭実行委員会を中心として文化的要素をテーマとした発表の企画をどう進めていくか。

4 中期的目標

個人の能力を最大限に引き出すことを重視し、自らの能力を高め、あるいは自らの得意とする分野にその才能を伸ばし、自己実現を目指そうとする意欲・態度や自発的精神を育成する。

5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1 年次	学習習慣の確立と基礎学力の定着	家庭学習の重要性を理解させ、十分な学習習慣を身につけさせる。習熟状況を分析・検討し、適切な学習計画を作成する。IT機器の活用を図り、学習意欲の向上に努める。	
	学力の向上を旨とする学習指導の強化	各種考査の結果を分析・活用し、弱点分野の克服に努めるとともに、生徒の主体的学習態度の確立、強化に努める。個別面談等で生徒個々の課題・適切な学習方法を検討する。さらに、学習のモラルの向上を図り、家庭学習時間の確保・充実を促す。学力向上のため、平常授業の充実・課外授業の積極的活用を促す。「学力向上推進事業」の下に、英語・数学の学習に困難を感じる生徒数の減少に努める。	
	進路意識・職業意識の喚起と進路指導の充実	「総合的な学習の時間」を活用し、進路・職業についての目標が明確にできるよう指導に努める。進路講演会・進路相談等をとおして生徒の進路意識の向上を図る。適切な進路情報や資料の収集に努め、生徒・保護者に提供する。学力分析をとおして、生徒の実態を的確に把握し、指導に努める。職員間の情報の共有化・組織力向上により、効果的な進路指導を図る。	
	進路希望の実現		
	基本的生活習慣の確立と生命尊重の心の涵養	「高校生さわやかマナーアップ事業」に積極的に取り組み、また、学校教育のあらゆる場をとおして、教師と生徒の信頼関係を育むとともに、生徒相互の人間関係の充実を図る。	
2 年次	学習指導の強化	1年次の目標を継承し、十分な学習習慣の定着、弱点分野の克服、平常授業の充実と課外授業への積極的参加の促進に努める。「学力向上推進事業」の下に、英語・数学の学習に困難を感じる生徒数の減少に努める。	
	進路指導の充実	「総合的な学習の時間」の活用や、進路講演会・進路相談等をとおして、進路・職業についての目標が明確にできるよう指導に努める。習熟状況を分析・検討し、適切な学習計画を作成する。個別面談の充実を図り生徒の進路希望実現につながる適切な指導に努める。	
	基本的生活習慣の確立と生命尊重の心の涵養	各教科の属する科目、特別活動および「総合的な学習の時間」のそれぞれの特質に応じて適切な指導を図る。	
3 年次	学習指導の強化	「学力向上推進事業」の下に、外部模試における数学の偏差値60以上の生徒数の増加を図るとともに、英語についても大幅なレベルアップを図る。	
	進路指導の充実	「総合的な学習の時間」の活用や、進路講演会・進路相談等をとおして、進路・職業についての目標が明確にできるよう指導に努める。個別面談の充実を図り生徒の進路希望実現につながる適切な指導に努める。	
	基本的生活習慣の確立と生命尊重の心の涵養	各教科の属する科目、特別活動および「総合的な学習の時間」のそれぞれの特質に応じて適切な指導を図る。	